

令和 6 年 5 月 31 日現在

機関番号：24601  
研究種目：基盤研究(A) (一般)  
研究期間：2018～2022  
課題番号：18H04126  
研究課題名(和文) データ科学・疫学・臨床医学の融合による日本の保険診療情報(NDB)の全解析

研究課題名(英文) Analysis of National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan (NDB) through the integration of data science, epidemiology, and clinical medicine

## 研究代表者

今村 知明 (Imamura, Tomoaki)

奈良県立医科大学・医学部・教授

研究者番号：80359603

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 34,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、奈良県のKDBを用いて、医療レセプトと介護レセプトの連結を試みた。KDB被保険者マスタに登録されるKDB個人番号等と、保険者番号・被保険者番号等を用いて作成した統合ID (GID)を用いることにより、一定数の追跡精度を持つ1患者DBを構築した。また、この技術をNDBにも応用し新規データを分析することで、死亡推定の精度検証や、レセプトを使用したコホート研究試行による医療レセプトと介護レセプト連結による健康寿命の検討、在宅医療利用患者の実態の分析及び2045年までの将来需要の推計などを行った。

## 研究成果の学術的意義や社会的意義

データベースを用いた臨床研究では、診断基準の項目の一部または全部が欠損していることが多いため、何らかの臨床的な蓋然性を設定することにより、疾患を定義付ける必要がある。本研究は、疾患定義、健康状態定義の技法を推し進めることで、世界最大級の健康関連データベースであるNDBの全情報を用いた臨床研究の分析技術に寄与する。特定の臨床課題の解明のみならずデータベース研究での「集団の定義」(疾患定義を含む)の確立を指向し臨床研究の通則を打ち立てる試みには、従来のレセプト・NDB研究とは一線を画する強い新規性がある。NDBの利点と欠点を公平に示し、NDB研究に携わる研究者としての社会的責任を果たしている。

研究成果の概要(英文)：In this study, we attempted to link medical receipts and long-term care receipts using Nara Kokuho Database (KDB). We constructed a time-series patient DB with constant tracking accuracy, by using KDB personal numbers registered in the KDB insured person master and integrated ID (GID) created using insurer and insured person numbers. We applied this technique to NDB and analyzed new data: verification of the accuracy of death estimates, examination healthy life expectancy by linking medical and long-term care receipts through a cohort study trial using these receipts, analysis of patients using home healthcare, and estimated future through 2045.

研究分野：公衆衛生学

キーワード：ナショナル・データベース NDB データマイニング シグナル検知 データベース医学

## 様式 C-19、F-19-1 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

レセプト情報・特定健診等情報データベース (National DataBase, 以下 NDB) は、国民皆保険制度を有する日本における保険診療の悉皆データであり、世界最大級の健康関連データベースである。NDB を有効に活用することで臨床研究が強力に推進できることは容易に予想される。しかし、NDB には、個人追跡用 ID が変化する、レコードの連結が困難であるといった予期せざる問題が山積し、実際に行われている臨床研究は限定的である。研究代表者らは、2017 年、上記の個人追跡用 ID の精度を高める手法を開発し、「レセプト枚数」に基づく分析を「患者数」に基づく分析へ発展させることに成功した。本研究は、データベースと疫学と臨床医学の融合により、NDB の全情報を用いた臨床研究の技法を世界で初めて確立することを目的としており、数万の傷病・医薬品同士の全相関分析や全糖尿病患者・人工透析患者のコホート研究を行うことで、世界最大級の健康関連データベースを用いた未知の疾病要因や副作用の検出に挑戦する。

### 2. 研究の目的

医学研究においては、対象となる人間集団が明確に規定されている必要がある。臨床医学においては、疾患等の健康状態の定義は一定の診断基準に基づいて行われるが、データベースを用いた臨床研究では、必要な項目の一部が欠損していることが多いため、何らかの臨床的な蓋然性を設定することにより、健康状態を定義付ける必要がある。本研究の対象データベースである NDB には、医療行為や投薬の有無が記載されているが、検査値などのアウトカム情報が格納されていないため、臨床研究にあたっては、「NDB 的〇〇病」の定義付けを開発する必要がある。本研究の目的は、このような疾患定義、健康状態定義を付与する技法を推し進めることにより、NDB の全情報を用いた臨床研究の分析技術を確立し、全傷病及び全医薬品の相関分析による 1 億人規模の横断研究や、糖尿病等の特定の傷病を対象としたコホート研究 (縦断研究) を実施することである。

### 3. 研究の方法

本研究は 3~5 年間分の NDB を対象とし、A. 全傷病・全薬剤の相関を見ることが出来るデータベースの作成と死亡情報の特定、B. 糖尿病患者と人工透析患者を対象とする等、多くの後向きコホート研究を実施する。

#### (1) NDB の入手及び NDB における患者定義の確定

3 ないし 5 年分の NDB の利用申請を行い、データを入手する (平均で 1 年弱を要する)。また、入手したデータをサーバーにロードする (1 ヶ月間程度)。

わが国を代表する糖尿病/人工透析の臨床専門家らとともに、「NDB における患者定義」を作成する。具体的には、疾患特異的な薬剤の処方や検査の実施、受診頻度等により、「臨床的に見て糖尿病患者である/人工透析を受けている蓋然性が高い患者」等といった疾病群や医療イベントを特定するロジックを構築する。

#### (2) 糖尿病患者/人工透析患者等といった疾病群や医療イベントを対象とするコホートの作成

(1) で定義付けた糖尿病患者/人工透析患者を NDB より抽出し、IDO 等の個人紐付け手法により名寄せし、入院と外来を結合したコホートを作成する。(入院と外来の結合が非常に困難であるため、1 年間程度を要する見込みである。)

#### (3) 糖尿病患者/人工透析患者コホート等といった疾病群や医療イベントの分析

糖尿病患者/人工透析患者の疫学特性 (有病率、地理分布、時系列分布) を正確に記述する。また、これらの患者が処方された薬剤や実施された医療行為 (=治療、検査) 別に、3 年間程度の予後や各種のイベントを探索的に観察する。これらの観察においては、性年齢階級や併存疾患だけでなく、薬剤および医療行為の頻度や回数も考慮する。

#### (4) 2 つの研究の妥当性検証と再分析

全傷病と全薬剤の相関分析を見ることが出来るデータベースの作成と死亡情報の特定  
糖尿病患者/人工透析患者コホート等、医療行為後の追跡の分析

2 つの研究の成果につき、データベース、疫学、臨床医学の専門家を交えた検討を行い、妥当性の検証を行う。その結果をもとに、再分析を行い、結果を精緻化する。

#### (5) 結果の公表

(1)~(4) で得られた膨大な成果物は随時公表するが、最終的な成果を整理し、公表する。公表に際しては、他の研究者の利用可能性に強く留意するものとする。

### 4. 研究成果

#### (1) 2018 年度

##### ① データベースの構築

医療レセプトと介護レセプトを結合するために、医療レセプト、介護レセプトそれぞれのロードを行った。その後、数多くの試行錯誤を繰り返してかなり高い精度でデータをマージすることが可能となった。これに必要なマシンやソフトの整備も行った。

- ② 医療行為後の分析例としての胃瘻造設に関する後方視的研究  
社会医療行為別統計（6月分）によると胃瘻造設術は2011年の7777件から2016年の3827件まで大きく減少しているが、その詳細は明らかにされていない。そこで、本研究では2013年4月～2017年3月の奈良県KDBデータにおける1)胃瘻造設術の年次推移、2)二次医療圏別の胃瘻造設術件数の割合、3)摂食機能療法が実施されている病床タイプを記述疫学的に分析した。本研究の結果、200床未満や一般病床と療養病床を主とする病院において胃瘻造設の減少が示された。さらに、地域包括ケア病床を有する病院において胃瘻造設と摂食機能療法とが積極的に実施されていることがわかった。
  - ③ 死亡決定ロジックの手法開発と検証  
本研究の対象データベースであるレセプトには、死亡や罹患のようにアウトカムにできる指標が乏しいため、治療の成果などが明らかにできない。4年分の奈良県KDBレセプトにおいて、医療機関が報告した死亡転帰の特異度は99.8%と高いが、感度が91.4%と低かった。また、死亡転帰日以降にレセプトが発生しているケース（誤った死亡転帰の記録）が約2%あった。そこで、転帰死亡の有効性を向上するために、診療行為をベースとした決定木による死亡決定ロジックを構築した。転帰区分のみの死亡に比べ、精度が向上することが明らかとなった。医療機関に受診しないまま死亡するケースは把握できないといった限界はあるが、死亡アウトカム指標の正確度を高めることができることが示された。
- (2) 2019年度
    - ① 医療レセプトと介護レセプト連結における名寄せの検討  
本研究では、奈良県のKDBを用いて、医療レセプトと介護レセプトの連結を試みた。KDB被保険者マスタに登録されるKDB個人番号等と、保険者番号・被保険者番号等を組み合わせた適切なID(KDBHID)を用いることにより、一定数の追跡精度を得ることができると判明した。
    - ② NDBを用いた死亡アウトカムの追跡  
平成30年度に構築した死亡決定ロジックを用いて、NDBデータにおける死亡を推定し、その精度の検証を行った。また、外科手術と内科治療で代表的な胃全摘術と経皮的冠動脈ステント留置術、経皮的冠動脈形成術を行った患者に対して手術後3年間を追跡した。胃全摘術の患者は、ステント留置術患者に比べ超過死亡が多く、胃全摘術患者に比べると予後が悪いという結果が得られた。
    - ③ 胃瘻造設術の減少と人工栄養の推移  
胃瘻やその代替手段となりうる経鼻栄養や中心静脈栄養を含めた人工栄養の変化に関する報告は少ないため、平成30年度の研究に続き、2013年から2017年度の奈良県のレセプトデータを用いて人工栄養を必要とした患者数と生命予後の推移を分析した。2014年度から2017年度にかけて胃瘻造設術とともに経鼻栄養が開始された患者数が減少していた。各人工栄養の開始後から180日以内の死亡に対するハザード比は4年間で有意な変化は認められなかった。
    - ④ レセプトデータを用いた100歳以上患者と100歳未満患者の医療費の比較  
105歳以上の者を指す超百寿者、110歳以上の者を指すスーパーセンテナリアンの数も増え続けているが、100歳以上の者の重症期間や医療費に焦点を当て評価した研究事例はほとんどないため、100歳以上と100歳未満の患者を対象に、入院及び入院外で発生した医療費を比較・分析した。
    - ⑤ 糖尿病患者の透析導入率  
NDBを用いた1億人規模の総コホートから初めて保険診療全患者の透析導入率を性年齢階級別、都道府県別に計算した。透析患者数や透析導入者数の集計結果は透析医学会の調査結果に近く、集計は妥当と考えられた。糖尿病患者は非糖尿病患者に比べ、年齢調整後の透析導入率が男女ともに10倍以上高かった。
  - (3) 2020年度
    - ① 医療レセプトと介護レセプト連結における名寄せの検討  
本研究では、奈良県のKDBを用いて、医療レセプトと介護レセプトの連結を試みた。KDB被保険者マスタに登録されるKDB個人番号等と、保険者番号・被保険者番号等を組み合わせた適切なID(KDBHID)に「国保後期突合台帳」データを用いることにより、名寄せ後の続ID(GID)を作成し、一定数の追跡精度を得ることができると判明した。
    - ② NDBを用いた死亡アウトカムの追跡  
平成30年度に構築した死亡決定ロジックを用いて、NDBデータにおける死亡を推定し、その精度の検証を行った。また、外科手術と内科治療で代表的な胃全摘術と経皮的冠動脈ステント留置術、経皮的冠動脈形成術を行った患者に対して手術後3年間を追跡した。胃全摘術の患者は、ステント留置術患者に比べ超過死亡が多く、胃全摘術患者に比べると予後が悪いという結果が得られた。
    - ③ 胃瘻造設術の減少と人工栄養の推移  
胃瘻やその代替手段となりうる経鼻栄養や中心静脈栄養を含めた人工栄養の変化に関する報告は少ないため、平成30年度の研究に続き、2013年から2017年度の奈良県のレセプト

データを用いて人工栄養を必要とした患者数と生命予後の推移を分析した。2014 年度から 2017 年度にかけて胃瘻造設術とともに経鼻栄養が開始された患者数が減少していた。各人工栄養の開始後から 180 日以内の死亡に対するハザード比は 4 年間で有意な変化は認められなかった。

- ④ レセプトデータを用いた 100 歳以上患者と 100 歳未満患者の医療費の比較  
105 歳以上の者を指す超百寿者、110 歳以上の者を指すスーパーセンテナリアンの数も増え続けているが、100 歳以上の者の重症期間や医療費に焦点を当て評価した 研究事例はほとんどないため、100 歳以上と 100 歳未満の患者を対象に、入院及び入院外で発生した医療費を比較・分析した。
- ⑤ 死亡ロジックを用いた死亡者の糖尿病/非糖尿病での比較  
日本の保険診療における死亡患者の集計を行い、死亡患者のうち糖尿病を持っていた患者と持っていなかった患者での属性を比較した。死亡患者のうちの糖尿病患者と非糖尿病患者の平均年齢は 1.4 歳程度の違いであった。この結果は、糖尿病患者の平均寿命が延びているという先行研究の結果と合致し、糖尿病は既に「死に至る病」ではなく、健常者と変わらない寿命を全うすることも可能となってきたことを示唆している。ただし NDB で同定できる死亡はあくまでレセプトに反映される死亡であり、医療の管轄外での死亡は把握できていないものと考えられる。
- ⑥ 透析患者における骨折発症リスク  
透析患者における骨折有病率と非透析患者（被保険者から透析患者を除いたもの）における骨折有病率を年度別に比較するため間接法で年齢調整した標準化骨折比を算出した。尚、透析患者における骨折は透析後骨折した患者のみを対象とした。非透析患者と比較した透析患者における標準化骨折比は 2013 年度/2014 年度/2015 年度/2016 年度/2017 年度で 1.80/1.66/1.58/2.29/2.19 であった。標準化骨折比は全年度で 1.58~2.29 となり透析患者において高いという結果であった。

#### (4) 2021 年度

- ① 医療レセプトと介護レセプト連結における名寄せの検討  
本研究では、奈良県の KDB を用いて、医療レセプトと介護レセプトの連結を試みた。KDB 被保険者マスタに登録される KDB 個人番号等と、保険者番号・被保険者番号等を用いて作成した統合 ID (GID) を用いることにより、一定数の追跡精度を得ることができ、GID に基づく 1 患者 DB を構築した。
- ② 医療レセプトと介護レセプト連結による健康寿命の検討  
健康寿命の主な代理指標として、医療レセプトからの死亡と介護保険データから要介護 2 以上になるまでの期間を活用することで健康寿命を積算することを検討した。また、要介護 2 以上となった医学的要因を探索するために、要介護認定から遡って 6 か月以内に入院を必要とした主傷病と手術を分析した。新たに要介護 2 以上と認定された要介護者の大部分が後期高齢者であった。要介護認定の 6 か月以内に発生した入院主傷病としては脳血管疾患と骨折の頻度が高く、骨折に対しては手術介入されているケースが多かった。
- ③ 在宅医療や訪問診療の実態把握と将来予測  
KDB を用いて、在宅医療利用患者（以下、在宅患者）の実態を性・年齢階級、市町村別に明らかにするとともに、2045 年までの将来需要を推計した。その結果、90 歳以上の患者数の増加が顕著であり、2040 年まで総数の増加は続き奈良県全体では最大で 26,312 人となった。しかし、その後は 2040 年をピークに全体の数は減少することが推計された。また、推計結果を二次医療圏別で比較すると、五つの二次医療圏のうち一つの医療圏では、2040 年まで在宅患者数はほとんど横ばいであり、他の医療圏とは異なる傾向が示された。
- ④ 透析患者における骨折発症後の標準化死亡比の算出  
KDB を用いて透析患者、骨折患者、骨折後透析患者の標準化死亡比 (SMR) を算出した。透析患者は期間中透析に関する診療行為コードが取られている人、また骨折患者は骨折の傷病名が付けられ、かつ骨折に特異的な診療行為コードが取られている人と定義した。分析の結果、透析患者における骨折発症後の SMR は基準集団より高く、透析患者において骨折は死亡のリスクが高いことが示唆された。また、男性は女性と比較して SMR が高かった。

#### (5) 2022 年度（←2023 年度/繰越）

- ① 医療レセプトと介護レセプト連結における名寄せの検討  
本研究では、奈良県の KDB を用いて、医療レセプトと介護レセプトの連結を試みた。KDB 被保険者マスタに登録される KDB 個人番号等と、保険者番号・被保険者番号等を用いて作成した統合 ID (GID) を用いることにより、一定数の追跡精度を得ることができ、GID に基づく 1 患者 DB を構築した。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、この技術を NDB に応用し新規データを分析することで、流行前と流行後に医療内容にどのような変化があったのかの分析も行った。
- ② 医療レセプトと介護レセプト連結による健康寿命の検討  
健康寿命の主な代理指標として、医療レセプトからの死亡と介護保険データから要介護 2 以上になるまでの期間を活用することで健康寿命を積算することを検討した。また、要介護

2以上となった医学的要因を探索するために、要介護認定から遡って6か月以内に入院を必要とした主傷病と手術を分析した。新たに要介護2以上と認定された要介護者の大部分が後期高齢者であった。要介護認定の6か月以内に発生した入院主傷病としては脳血管疾患と骨折の頻度が高く、骨折に対しては手術介入されているケースが多いなどの新たな分析が可能であることを証明した。

③ 在宅医療や訪問診療の実態把握と将来予測

NDBやKDBを用いて、在宅医療利用患者（以下、在宅患者）の実態を性・年齢階級、市町村別に明らかにするとともに、2045年までの将来需要を推計した。その結果、90歳以上の患者数の増加が顕著であった。しかし、その後は2040年ごろをピークに全体の数は減少することが推計された。また、推計結果を奈良県の二次医療圏別で比較すると、五つの二次医療圏のうち一つの医療圏では、2040年まで在宅患者数はほとんど横ばいであり、他の医療圏とは異なる傾向が示された。

④ 透析患者における骨折発症後の標準化死亡比の算出

2013年4月～2021年3月までのKDB改善データの医科・DPCレセプトを使用。透析患者は期間中透析に関する診療行為コード、また骨折患者は骨折の傷病名かつ骨折に特異的な診療行為コードが取られている人と定義した。骨折患者は透析患者に多いとされる股関節、大腿骨、骨盤、椎体における手術を要した大骨折に限定した。SMRを間接法を用いて透析後骨折した患者において算出したところ、透析患者における骨折発症後のSMRは基準集団より高く、透析患者において骨折は死亡のリスクが高いことが示唆された。また、男性は女性と比較してSMRが高かった。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計61件（うち査読付論文 38件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 33件）

1. 著者名 今村知明、ほか（2040年度を見据えた看護のあり方検討委員会）	4. 巻 74
2. 論文標題 2040年を見据えた看護のあり方検討委員会と重点政策・重点課題・基盤強化事業	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 看護	6. 最初と最後の頁 36～41
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanaoka Koshiro, Nishida Taku, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Soeda Tsunenari, Okada Katsuki, Noda Tatsuya, Iwanaga Yoshitaka, Miyamoto Yoshihiro, Sakata Yasushi, Imamura Tomoaki, Saito Yoshihiko	4. 巻 33
2. 論文標題 The impact of hospital case volume on the outcomes after catheter ablation for atrial fibrillation according to the ablation technology	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Cardiovascular Electrophysiology	6. 最初と最後の頁 1394～1402
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/jce.15495	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 今村知明	4. 巻 54
2. 論文標題 地域医療構想の現状と病院が抱えている課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 公営企業	6. 最初と最後の頁 4～11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今村知明	4. 巻 35
2. 論文標題 政府の医療施策とコロナ禍を受けての今後の動向、「特別講演2」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 口腔・咽喉科	6. 最初と最後の頁 109～113
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka Yuichi, Kubo Shinichiro, Okada Sadanori, Myojin Tomoya, Higashino Tsuneyuki, Imai Kenjiro, Sugiyama Takehiro, Noda Tatsuya, Ishii Hitoshi, Takahashi Yutaka, Imamura Tomoaki	4. 巻 13
2. 論文標題 The age of death in Japanese patients with type 2 and type 1 diabetes: A descriptive epidemiological study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 1316 ~ 1320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13802	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakai Michikazu, Iwanaga Yoshitaka, Kanaoka Koshiro, Sumita Yoko, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Okada Katsuki, Soeda Tsunenari, Noda Tatsuya, Sakata Yasushi, Imamura Tomoaki, Saito Yoshihiko, Yasuda Satoshi, Miyamoto Yoshihiro	4. 巻 21
2. 論文標題 Contemporary use of SGLT2 inhibitors in heart failure patients with diabetes mellitus: a comparison of DPP4 inhibitors in a nationwide electric health database of the superaged society	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cardiovascular Diabetology	6. 最初と最後の頁 157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12933-022-01586-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa Yuki, Yamana Hayato, Noda Tatsuya, Kishimoto Miwa, Yoshihara Shingo, Kanaoka Koshiro, Matsui Hiroki, Fushimi Kiyohide, Yasunaga Hideo, Kawaguchi Masahiko, Imamura Tomoaki	4. 巻 11
2. 論文標題 Severe Complications after General Anesthesia versus Sedation during Pediatric Diagnostic Cardiac Catheterization for Ventricular Septal Defect	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Medicine	6. 最初と最後の頁 5165 ~ 5165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/jcm11175165	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Noda Tatsuya, Okumura Yasuyuki, Kan-o Keiko, Taniguchi Toshibumi, Suzuki Sadao, Imamura Tomoaki	4. 巻 4
2. 論文標題 Age-specific Mortality Associated with COVID-19 and Seasonal Influenza in Japan: Using Multiple Population-based Databases	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Annals of Clinical Epidemiology	6. 最初と最後の頁 129 ~ 132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.37737/ace.22016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 森田雅士、西岡祐一、岡本左和子、小野孝二、今村知明	4. 巻 81
2. 論文標題 リアルワールドデータを用いた診療放射線技師の需要と供給推計から考察した将来設計	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 病院	6. 最初と最後の頁 904 ~ 911
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukushima Hidetada, Nishioka Yuichi, Kasahara Kei, Asai Hideki, Sonobe Shota, Imamura Tomoaki, Muro Shigeo, Nishio Kenji	4. 巻 101
2. 論文標題 Sensitivity and specificity analyses of COVID-19 screening protocol for emergency medical services: A STARD-compliant population-based retrospective study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Medicine	6. 最初と最後の頁 e30902
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MD.00000000000030902	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菅野沙帆、野田龍也、町田宗人、西岡祐一、久保慎一郎、今村知明	4. 巻 42
2. 論文標題 2019年と2020年における外来受診患者数の比較	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 医療情報学 論文集	6. 最初と最後の頁 763 ~ 765
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi Kaori, Nakanishi Yasuhiro, Tangcharoensathien Viroj, Kono Makoto, Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Imamura Tomoaki, Akahane Manabu	4. 巻 100
2. 論文標題 Rehabilitation services and related health databases, Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Bulletin of the World Health Organization	6. 最初と最後の頁 699 ~ 708
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2471/BLT.22.288174	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Tonic Dunya, et al.	4. 巻 10
2. 論文標題 Lifetime risk, life expectancy, and years of life lost to type 2 diabetes in 23 high-income jurisdictions: a multinational, population-based study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Lancet Diabetes & Endocrinology	6. 最初と最後の頁 795 ~ 803
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/S2213-8587(22)00252-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakai Michikazu, Iwanaga Yoshitaka, Kanaoka Koshiro, Sumita Yoko, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Okada Katsuki, Soeda Tsunenari, Noda Tatsuya, Sakata Yasushi, Imamura Tomoaki, Saito Yoshihiko, Yasuda Satoshi, Miyamoto Yoshihiro	4. 巻 155
2. 論文標題 Age-dependent association of discharge heart-failure medications with clinical outcomes in a super-aged society	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biomedicine & Pharmacotherapy	6. 最初と最後の頁 113761 ~ 113761
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.biopha.2022.113761	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 竹下沙希、西岡祐一、森田えみり、明神大也、久保慎一郎、野田龍也、今村知明	4. 巻 42
2. 論文標題 レセプト情報・健診情報を活用したリアルワールドエビデンス創出に資する医学統計手法の開発 低用量卵巣ホルモン・黄体ホルモン配合製剤と血栓症に関するTarget Trial Emulation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 医療情報学 論文集	6. 最初と最後の頁 1215 ~ 1220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野田龍也	4. 巻 42
2. 論文標題 クレームデータベース利活用の現場から：できること・できないこと・意外にできたこと	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 医療情報学 論文集	6. 最初と最後の頁 334 ~ 337
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 明神大也、西岡祐一、野田龍也、大井川仁美、今井健、今村知明	4. 巻 42
2. 論文標題 NDBと死亡情報の連結における技術的課題の検討	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 医療情報学 論文集	6. 最初と最後の頁 690 ~ 693
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Myojin Tomoya, Noda Tatsuya, Kubo Shinichiro, Nishioka Yuichi, Higashino Tsuneyuki, Imamura Tomoaki	4. 巻 11
2. 論文標題 Development of a New Method to Trace Patient Data Using the National Database in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Advanced Biomedical Engineering	6. 最初と最後の頁 203 ~ 217
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14326/abe.11.203	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanaoka Koshiro, Iwanaga Yoshitaka, Fukuma Nagaharu, Nakai Michikazu, Sumita Yoko, Nishioka Yuichi, Okada Katsuki, Noda Tatsuya, Sakata Yasushi, Imamura Tomoaki, Miyamoto Yoshihiro	4. 巻 86
2. 論文標題 Trends and Factors Associated With Cardiac Rehabilitation Participation Data From Japanese Nationwide Databases	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Circulation Journal	6. 最初と最後の頁 1998 ~ 2007
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circj.CJ-22-0095	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanaoka Koshiro, Iwanaga Yoshitaka, Nakai Michikazu, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Okada Katsuki, Soeda Tsunenari, Noda Tatsuya, Sakata Yasushi, Miyamoto Yoshihiro, Saito Yoshihiko, Imamura Tomoaki	4. 巻 109
2. 論文標題 Outpatient cardiac rehabilitation dose after acute coronary syndrome in a nationwide cohort	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Heart	6. 最初と最後の頁 40 ~ 46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/heartjnl-2021-320434	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹下沙希、西岡祐一、明神大也、峯昌啓、野田龍也、今村知明	4. 巻 42
2. 論文標題 レセプト情報における傷病名・診療開始日を用いた名寄せロジック	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 医療情報学	6. 最初と最後の頁 217 ~ 225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Hidetaka, Fukuda Sayoko, Matsukawa Rina, Asakura Yumi, Kanno Yuri, Hatta Tomohiro, Saito Yurina, Shimizu Yuki, Kawarasaki Shuichi, Kihara Mari, Kinoshita Natsumi, Umeda Hikari, Noda Tatsuya, Imamura Tomoaki, Nishioka Yuichi, Yamaguchi Toshihiro, Hayashi Shuichiro, Iguchi Toyotaka	4. 巻 57
2. 論文標題 Risks of Myocarditis and Pericarditis Following Vaccination with SARS-CoV-2 mRNA Vaccines in Japan: An Analysis of Spontaneous Reports of Suspected Adverse Events	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Therapeutic Innovation & Regulatory Science	6. 最初と最後の頁 329 ~ 342
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s43441-022-00466-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanaoka Koshiro, Iwanaga Yoshitaka, Okada Katsuki, Terasaki Satoshi, Nishioka Yuichi, Nakai Michikazu, Kamon Daisuke, Myojin Tomoya, Soeda Tsunenari, Noda Tatsuya, Horii Manabu, Sakata Yasushi, Miyamoto Yoshihiro, Saito Yoshihiko, Imamura Tomoaki	4. 巻 87
2. 論文標題 Validity of Diagnostic Algorithms for Cardiovascular Diseases in Japanese Health Insurance Claims	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Circulation Journal	6. 最初と最後の頁 536 ~ 542
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circj.CJ-22-0566	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mohri Takako, Okamoto Sawako, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Higashino Tsuneyuki, Okada Sadanori, Akai Yasuhiro, Noda Tatsuya, Ishii Hitoshi, Imamura Tomoaki	4. 巻 20
2. 論文標題 Risk of Lactic Acidosis in Hospitalized Diabetic Patients Prescribed Biguanides in Japan: A Retrospective Total-Population Cohort Study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 5300
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph20075300	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishimura Yuki, Inagaki Yusuke, Noda Tatsuya, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Ogawa Munehiro, Kido Akira, Imamura Tomoaki, Tanaka Yasuhito	4. 巻 18
2. 論文標題 Risk factors for mortality after hip fracture surgery in Japan using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Archives of Osteoporosis	6. 最初と最後の頁 91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11657-023-01293-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kan-o Keiko, Noda Tatsuya, Ogata Hiroaki, Masaki Katsunori, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Adachi Takeya, Morita Hideaki, Imamura Tomoaki, Tamari Mayumi, Kainuma Keigo	4. 巻 62
2. 論文標題 Insights from the trends of omalizumab and mepolizumab utilization in patients with asthma: A population-based cohort study using the National Database in Japan	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Respiratory Investigation	6. 最初と最後の頁 113 ~ 120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resinv.2023.11.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeshita Saki, Nishioka Yuichi, Tamaki Yuko, Kamitani Fumika, Mohri Takako, Nakajima Hiroki, Kurematsu Yukako, Okada Sadanori, Myojin Tomoya, Noda Tatsuya, Imamura Tomoaki, Takahashi Yutaka	4. 巻 24
2. 論文標題 Novel subgroups of obesity and their association with outcomes: a data-driven cluster analysis	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 BMC Public Health	6. 最初と最後の頁 124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-024-17648-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka Yuichi, Morita Emiri, Takeshita Saki, Tamamoto Sakura, Myojin Tomoya, Noda Tatsuya, Imamura Tomoaki	4. 巻 -
2. 論文標題 Exact-matching algorithms using administrative health claims database equivalence factors for real-world data analysis based on the target trial emulation framework	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Health Services and Outcomes Research Methodology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10742-024-00322-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kamitani Fumika, Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Higashino Tsuneyuki, Okada Sadanori, Akai Yasuhiro, Ishii Hitoshi, Takahashi Yutaka, Imamura Tomoaki	4. 巻 11
2. 論文標題 Incidence of lower limb amputation in people with and without diabetes: a nationwide 5-year cohort study in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e048436
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2020-048436	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakanishi Yasuhiro, Tsugihashi Yukio, Akahane Manabu, Noda Tatsuya, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Higashino Tsuneyuki, Okuda Naoko, Robine Jean-Marie, Imamura Tomoaki	4. 巻 4
2. 論文標題 Comparison of Japanese Centenarians' and Noncentenarians' Medical Expenditures in the Last Year of Life	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JAMA Network Open	6. 最初と最後の頁 e2131884
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1001/jamanetworkopen.2021.31884	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 今村知明	4. 巻 76(11)
2. 論文標題 新型コロナウイルスを受けての地域医療の課題と感染症医療提供体制構築私案 (特集“感染症医療”の抜本改革)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊 保険診療	6. 最初と最後の頁 38-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kubo Shinichiro, Noda Tatsuya, Myojin Tomoya, Nishioka Yuichi, Kanno Saho, Higashino Tsuneyuki, Nishimoto Masatoshi, Eriguchi Masahiro, Samejima Kenichi, Tsuruya Kazuhiko, Imamura Tomoaki	4. 巻 26
2. 論文標題 Tracing all patients who received insured dialysis treatment in Japan and the present situation of their number of deaths	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Clinical and Experimental Nephrology	6. 最初と最後の頁 360 ~ 367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10157-021-02163-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato Sakura, Kainuma Keigo, Noda Tatsuya, Ebisawa Motohiro, Futamura Masaki, Imamura Tomoaki, Miyagawa Akihiro, Nakajima Saeko, Ogawa Yasushi, Inomata Takenori, Kan-o Keiko, Kurashima Yosuke, Masaki Katsunori, Myojin Tomoya, Nishioka Yuichi, Sakashita Masafumi, Tamari Mayumi, Morita Hideaki, Adachi Takeya	4. 巻 71
2. 論文標題 Evaluation of adrenaline auto-injector prescription profiles: A population-based, retrospective cohort study within the National Insurance Claims Database of Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Allergology International	6. 最初と最後の頁 354 ~ 361
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.alit.2022.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Seitaro, Noda Tatsuya, Nishioka Yuichi, Imamura Tomoaki, Kamijo Hideyuki, Sugihara Naoki	4. 巻 70
2. 論文標題 Evaluation of tooth loss among patients with diabetes mellitus using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Dental Journal	6. 最初と最後の頁 308 ~ 315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/idj.12561	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Okada Sadanori, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Higashino Tsuneyuki, Ishii Hitoshi, Imamura Tomoaki	4. 巻 8
2. 論文標題 Incidence and seasonality of type 1 diabetes: a population-based 3-year cohort study using the National Database in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ Open Diabetes Research & Care	6. 最初と最後の頁 e001262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjdr-2020-001262	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菅野沙帆、久保慎一郎、西岡祐一、野田龍也、今村知明	4. 巻 40
2. 論文標題 レセプト電算用マスターとMEDISの標準病名マスターにおける指定難病病名の収載状況について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 医療情報学 論文集	6. 最初と最後の頁 589-591
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、東野恒之、今村知明	4. 巻 40
2. 論文標題 レセプト情報・特定検診等情報データベース(NDB)における患者突合の精度向上に関する手法開発	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 医療情報学 論文集	6. 最初と最後の頁 765-769
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西岡祐一、野田龍也、今村知明	4. 巻 67(15)
2. 論文標題 奈良県における後期高齢者医療費と保険料水準の理論推計	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 厚生の指標	6. 最初と最後の頁 26-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsugihashi Yukio, Akahane Manabu, Nakanishi Yasuhiro, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Hayashi Shuichiro, Furihata Shiori, Higashino Tsuneyuki, Imamura Tomoaki	4. 巻 21
2. 論文標題 Long term prognosis of enteral feeding and parenteral nutrition in a population aged 75?years and older: a population based cohort study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Geriatrics	6. 最初と最後の頁 80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12877-020-02003-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Seitaro, Noda Tatsuya, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Imamura Tomoaki, Kamijo Hideyuki, Sugihara Naoki	4. 巻 62
2. 論文標題 Evaluation of Public Health Expenditure by Number of Teeth among Outpatients with Diabetes Mellitus	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Bulletin of Tokyo Dental College	6. 最初と最後の頁 55~60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2209/tdcpublication.2020-0035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanaoka Koshiro, Soeda Tsunenari, Terasaki Satoshi, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Okada Katsuki, Noda Tatsuya, Watanabe Makoto, Kawakami Rika, Sakata Yasushi, Imamura Tomoaki, Saito Yoshihiko	4. 巻 3
2. 論文標題 Current Status and Effect of Outpatient Cardiac Rehabilitation After Percutaneous Coronary Intervention in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Circulation Reports	6. 最初と最後の頁 122 ~ 130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1253/circrep.CR-20-0143	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、中西康裕、降旗志おり、東野恒之、今村知明	4. 巻 40(6)
2. 論文標題 レセプト情報・特定検診等情報データベース (NDB) を用いた死亡アウトカムの追跡	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 医療情報学	6. 最初と最後の頁 319-335
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Okada Sadanori, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Higashino Tsuneyuki, Nakajima Hiroki, Sugiyama Takehiro, Ishii Hitoshi, Imamura Tomoaki	4. 巻 12
2. 論文標題 Association between influenza and the incidence rate of new onset type 1 diabetes in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 1797 ~ 1804
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13540	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshihara Shingo, Yamana Hayato, Akahane Manabu, Kishimoto Miwa, Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Matsui Hiroki, Fushimi Kiyohide, Yasunaga Hideo, Kasahara Kei, Imamura Tomoaki	4. 巻 27
2. 論文標題 Association between prophylactic antibiotic use for transarterial chemoembolization and occurrence of liver abscess: a retrospective cohort study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Microbiology and Infection	6. 最初と最後の頁 1514.e5 ~ e10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cmi.2021.01.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 菅野沙帆、久保慎一郎、西岡祐一、明神大也、野田龍也、今村知明	4. 巻 41(4)
2. 論文標題 レセプト電算用マスターとMEDIS 標準病名マスターにおける指定難病名の収載状況	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 医療情報学	6. 最初と最後の頁 163-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakanishi Yasuhiro, Tsugihashi Yukio, Akahane Manabu, Noda Tatsuya, Nishioka Yuichi, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Higashino Tsuneyuki, Okuda Naoko, Robine Jean-Marie, Imamura Tomoaki	4. 巻 4
2. 論文標題 Comparison of Japanese Centenarians' and Noncentenarians' Medical Expenditures in the Last Year of Life	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JAMA Network Open	6. 最初と最後の頁 e2131884
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1001/jamanetworkopen.2021.31884	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 今村知明	4. 巻 76(11)
2. 論文標題 新型コロナウイルスを受けての地域医療の課題と感染症医療提供体制構築私案 (特集 "感染症医療" の抜本改革)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊 保険診療	6. 最初と最後の頁 38-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kuwata Hirohito, Nishioka Yuichi, Noda Tatsuya, Kubo Shinichiro, Myojin Tomoya, Higashino Tsuneyuki, Takahashi Yutaka, Ishii Hitoshi, Imamura Tomoaki	4. 巻 13(3)
2. 論文標題 Association between dipeptidyl peptidase 4 inhibitors and increased risk for bullous pemphigoid within 3?months from first use: A 5 year population based cohort study using the Japanese National Database	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 460 ~ 467
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13676	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka Yuichi, Takeshita Saki, Kubo Shinichiro, Myojin Tomoya, Noda Tatsuya, Okada Sadanori, Ishii Hitoshi, Imamura Tomoaki, Takahashi Yutaka	4. 巻 13
2. 論文標題 Appropriate definition of diabetes using an administrative database: A cross sectional cohort validation study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 249 ~ 255
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13641	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi Shuichiro, Noda Tatsuya, Kubo Shinichiro, Myojin Tomoya, Nishioka Yuichi, Higashino Tsuneyuki, Akahane Manabu, Imamura Tomoaki	4. 巻 23
2. 論文標題 Data regarding fracture incidence according to fracture site, month, and age group obtained from the large public health insurance claim database in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Data in Brief	6. 最初と最後の頁 103780 ~ 103780
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.dib.2019.103780	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 明神 大也、次橋 幸男、久保 慎一郎、西岡 祐一、中西 康裕、降旗 志おり、東野 恒之、野田 龍也、今村 知明	4. 巻 39
2. 論文標題 国保データベースを用いた医療レセプトと介護レセプト連結における名寄せの課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医療情報学論文集	6. 最初と最後の頁 368 ~ 371
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、中西康裕、降旗志おり、東野恒之、今村知明	4. 巻 39
2. 論文標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB) を用いた死亡アウトカムの追跡	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 医療情報学論文集	6. 最初と最後の頁 360 ~ 365
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西岡祐一、野田龍也、今村知明	4. 巻 93
2. 論文標題 世界最大の医療ビッグデータNDB (ナショナルデータベース) の活用と今後の展望	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本整形外科学会雑誌	6. 最初と最後の頁 959 ~ 979
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野田龍也、今村知明	4. 巻 18
2. 論文標題 データベース医学の幕開け	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 再生医療 (日本再生医療学会雑誌)	6. 最初と最後の頁 31-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishioka Yuichi, Okada Sadanori, Noda Tatsuya, Myojin Tomoya, Kubo Shinichiro, Ohtera Shosuke, Kato Genta, Kuroda Tomohiro, Ishii Hitoshi, Imamura Tomoaki	4. 巻 11
2. 論文標題 Absolute risk of acute coronary syndrome after severe hypoglycemia: A population based 2 year cohort study using the National Database in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Diabetes Investigation	6. 最初と最後の頁 426 ~ 434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdi.13153	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Akahane Manabu, Maeyashiki Akie, Tanaka Yasuhito, Imamura Tomoaki	4. 巻 29
2. 論文標題 The impact of musculoskeletal diseases on the presence of locomotive syndrome	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Modern Rheumatology	6. 最初と最後の頁 151 ~ 156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14397595.2018.1452173	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamana Hayato, Kodan Mariko, Ono Sachiko, Morita Kojiro, Matsui Hiroki, Fushimi Kiyohide, Imamura Tomoaki, Yasunaga Hideo	4. 巻 18
2. 論文標題 Hospital quality reporting and improvement in quality of care for patients with acute myocardial infarction	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BMC Health Services Research	6. 最初と最後の頁 523
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12913-018-3330-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miwa Kishimoto, Hayato Yamana, Satoki Inoue, Tatsuya Noda, Manabu Akahane, Yusuke Inagaki, Hiroki Matsui, Hideo Yasunaga, Masahiko Kawaguchi, Tomoaki Imamura	4. 巻 65
2. 論文標題 Suspected periprosthetic joint infection after total knee arthroplasty under propofol versus sevoflurane anesthesia: a retrospective cohort study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Canadian Journal of Anesthesia	6. 最初と最後の頁 893 ~ 900
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12630-018-1139-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、降旗志おり、東野恒之、瀬楽丈夫、今村知明	4. 巻 38
2. 論文標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB) に対する死亡決定ロジックの手法開発 - R言語による決定木分析を用いて -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医療情報学 論文集	6. 最初と最後の頁 438 ~ 443
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 明神大也、野田龍也、久保慎一郎、西岡祐一、東野恒之、今村知明	4. 巻 38
2. 論文標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB) 利用促進に向けた取り組み - 1患者1データ化 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 医療情報学 論文集	6. 最初と最後の頁 862 ~ 865
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi Shuichiro, Noda Tatsuya, Kubo Shinichiro, Myojin Tomoya, Nishioka Yuichi, Higashino Tsuneyuki, Imamura Tomoaki	4. 巻 120
2. 論文標題 Variation in fracture risk by season and weather: A comprehensive analysis across age and fracture site using a National Database of Health Insurance Claims in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bone	6. 最初と最後の頁 512 ~ 518
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bone.2018.12.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計124件 (うち招待講演 3件 / うち国際学会 5件)

1. 発表者名 紙谷史夏、西岡祐一、池菜美香、新居田泰大、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、毛利貴子、久保慎一郎、明神大也、桑田博仁、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 糖尿病患者ではSGLT2阻害薬により下肢切断が増えるのか：レセプトビッグデータを用いた疫学研究
3. 学会等名 第65回日本糖尿病年次学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小泉実幸、西岡祐一、新居田泰大、玉城由子、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた妊娠糖尿病患者の妊娠後骨粗鬆症の実態の解明
3. 学会等名 第65回日本糖尿病年次学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岡田定規、西岡祐一、金岡幸嗣朗、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、桑田博仁、樽松由佳子、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、斎藤能彦、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 健診・レセプト情報連結データベースの縦断的解析による疾病予測：eGFR slope による透析ハイリスク患者の抽出
3. 学会等名 第65回日本糖尿病年次学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 森田えみり、西岡祐一、竹下沙希、明神大也、久保慎一郎、新居田泰大、池菜美香、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いたSGLT2阻害薬による糖尿病網膜症進展防止効果についての解析
3. 学会等名 第65回日本糖尿病年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西岡祐一、森田えみり、竹下沙希、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 1型糖尿病発症リスクにおける環境因子と遺伝因子の定量化の試み：レセプトビッグデータ解析
3. 学会等名 第65回日本糖尿病年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹下沙希、西岡祐一、明神大也、久保慎一郎、新居田泰大、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータのクラスター解析によって明らかになった高度肥満の不均一性
3. 学会等名 第65回日本糖尿病年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中島拓紀、西岡祐一、新居田泰大、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた食習慣による 2 型糖尿病発症リスクの解明
3. 学会等名 第65回日本糖尿病年次学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中西 康裕、次橋 幸男、早坂 章、西岡 祐一、今村 知明、赤羽 学
2. 発表標題 アドバンス・ケア・プランニングの実施経験に関するWEB質問紙調査
3. 学会等名 第64回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 森田えみり、西岡祐一、竹下沙希、明神大也、久保慎一郎、新居田泰大、池菜美香、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、栗田博仁、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた自己免疫性甲状腺疾患の遺伝因子の解析
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 新居田泰大、西岡祐一、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、紙谷史夏、栗田博仁、岡田定規、毛利貴子、樽松由佳子、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた甲状腺眼症の疫学解析
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西岡祐一、森田えみり、竹下沙希、新居田泰大、津川峻輔、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、栗田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 2型糖尿病発症リスクにおける環境因子と遺伝因子の定量化の試み：レセプトビッグデータ解析
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小泉実幸、西岡祐一、新居田泰大、玉城由子、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた妊娠後骨粗鬆症の実態の解明
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 紙谷史夏、西岡祐一、中島拓紀、久保慎一郎、明神大也、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 抗甲状腺薬による無顆粒球症の臨床的特徴：レセプトビッグデータを用いた疫学研究
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中島拓紀、西岡祐一、新居田泰大、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、毛利貴子、栗田博仁、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた特発性アルドステロン症における骨折リスクの解明
3. 学会等名 第95回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹下 沙希、西岡 祐一、明神 大也、久保 慎一郎、野田 龍也、今村 知明
2. 発表標題 レセプト情報における病名・病名開始日を用いた名寄せロジック
3. 学会等名 第26回日本医療情報学会春季学術集会
4. 発表年 2022年



1. 発表者名 菅野沙帆、野田龍也、久保慎一郎、西岡祐一、明神大也、今村知明
2. 発表標題 NDBを用いたがんの部位別SMRの算出の検討
3. 学会等名 第26回日本医療情報学会春季学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西岡祐一、竹下沙希、森田えみり、明神大也、久保慎一郎、新居田泰大、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、毛利貴子、中島拓紀、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた糖尿病、肥満の病態の解明
3. 学会等名 Diabetes and Insulin Resistanc (DESIRE) Conference 2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 次橋幸男、赤羽 学、明神大也、中西康裕、久保慎一郎、西岡祐一、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 在宅訪問診療を受けた実患者数とその提供量の推移：レセプト情報・特定検診等情報データベース（NDB）を用いた全年齢層における全国データの分析
3. 学会等名 第4回日本在宅医療連合学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 森田雅士、西岡祐一、岡本左和子、小野孝二、今村知明
2. 発表標題 診療放射線技師の業務と需給の動向から考えるタスク・シフト/シェア
3. 学会等名 第38回日本診療放射線技師学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 今村知明
2. 発表標題 「医師の働き方改革」をどう考えるべきか
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第81回学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中澤有佐、西岡祐一、竹下沙希、森田えみり、玉本咲楽、明神大也、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 特定健康診査の次年度受診割合と健診判定値の関連
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 橋野周一郎、明神大也、岸本美和、今村知明
2. 発表標題 NDBオープンデータを用いた抗ヒスタミン薬処方数量の時系列変化
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 菅野沙帆、野田龍也、久保慎一郎、西岡祐一、明神大也、今村知明
2. 発表標題 レセプトデータを用いた透析患者における骨折発症後の標準化死亡比の算出
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 平石達郎、明神大也、今村知明
2. 発表標題 奈良県における病床機能報告の課題分析
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 菊池綾、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 精神科病院におけるCOVID-19クラスター対応と考察
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 次橋幸男、西岡祐一、中西康裕、柿沼倫弘、野田龍也、赤羽学、今村知明
2. 発表標題 介護医療院創設前後における医療療養病床・医療区分1を退院した患者の療養場所の変化
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹下沙希、西岡祐一、次橋幸男、中西康裕、柿沼倫弘、久保慎一郎、明神大也、赤羽学、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 KDBを用いた医療区分1入院患者の 介護・医療介入の現状と予後の解析
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 玉本咲楽、西岡祐一、竹下沙希、森田えみり、中澤有佐、明神大也、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 特定保健指導の糖尿病発症抑制効果検証のための観察研究 - Target Trial Emulation -
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 森田えみり、西岡祐一、竹下沙希、明神大也、久保慎一郎、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 レセプトビッグデータ解析：家族歴が自己免疫性甲状腺疾患発症に与えるリスクの定量化
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中西康裕、西岡祐一、次橋幸男、柿沼倫弘、野田龍也、今村知明、赤羽学
2. 発表標題 大規模レセプトデータを用いた在宅医療需要の将来推計手法の確立
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柿沼倫弘、中西康裕、西岡祐一、野田龍也、今村知明、赤羽学
2. 発表標題 大規模レセプトデータを用いた脳梗塞治療に関する地域医療提供体制の検討
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 新居田泰大、西岡祐一、森田えみり、明神大也、久保慎一郎、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 レセプトデータを用いたパセドウ病と甲状腺眼症の疫学
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小川裕貴、野田龍也、西岡祐一、小川俊夫、今村知明
2. 発表標題 JMDCデータベースを用いた糖尿病と直腸癌手術後排尿機能障害の関連の検討
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 明神大也、西岡祐一、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 NDBと死亡情報の連結にあたっての課題の検討
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西岡祐一、森田えみり、竹下沙希、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 1型糖尿病発症に関わる因子 インフルエンザと1型糖尿病発症のTarget Trial Emulation
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 野田龍也、明神大也、西岡祐一、今村知明
2. 発表標題 日本の医療データベースから算出された季節性インフルエンザの致死率と重症化率
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 今村知明、西岡祐一、柿沼倫弘、赤羽学、野田龍也
2. 発表標題 第8次医療計画策定に向けた循環器疾患の医療政策指標の検討
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安福祐一、西岡祐一、宇田和晃、康永秀生、今村知明
2. 発表標題 拡張型心筋症患者に対する早期心臓リハビリテーションが患者の短期予後に与える影響
3. 学会等名 第81回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yasuhiro Nakanishi, Yuichi Nishioka, Yukio Tsugihashi, Tomohiro Kakinuma, Tatsuya Noda, Tomoaki Imamura, Manabu Akahane
2. 発表標題 Forecasting the Regional Distribution of Home Care Patients Using Big Data of Insurance Claims in Japan: 2015 to 2045
3. 学会等名 The Gerontological Society of America (GSA) 2022 Annual Scientific Meeting (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山口佳小里、中西康裕、西岡祐一、次橋幸男、野田龍也、北村哲郎、城戸顕、今村知明、赤羽学
2. 発表標題 大規模レセプトデータを用いた後期高齢者を対象としたリハビリテーション医療の需要に関する圏域別将来推計
3. 学会等名 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 宮野沙帆、野田龍也、町田宗仁、西岡祐一、明神大也、久保慎一郎、今村知明
2. 発表標題 2019年と2020年における日本の外来受診患者数の比較
3. 学会等名 第42回医療情報学連合大会（第23回日本医療情報学会学術大会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 明神大也、西岡祐一、野田龍也、大井川仁美、今井健、今村知明
2. 発表標題 NDBと死亡情報の連結における技術的課題の検討
3. 学会等名 第42回医療情報学連合大会（第23回日本医療情報学会学術大会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹下沙希、西岡祐一、森田えみり、明神大也、久保慎一郎、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・健診情報を活用したリアルワールドエビデンス創出に資する医学統計手法の開発：低用量卵胞ホルモン・黄体ホルモン配合製剤と血栓症に関するTarget Trial Emulation
3. 学会等名 第42回医療情報学連合大会（第23回日本医療情報学会学術大会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 野田龍也
2. 発表標題 クレームデータベース利活用の現場から：できること・できないこと・意外にできたこと
3. 学会等名 第42回医療情報学連合大会（第23回日本医療情報学会学術大会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yasuhiro Nakanishi, Yuichi Nishioka, Yukio Tsugihashi, Tomohiro Kakinuma, Tatsuya Noda, Tomoaki Imamura, Manabu Akahane
2. 発表標題 Forecasting the Regional Distribution of Home Care Patients Using Big Data of Insurance Claims in Japan: 2015 to 2045
3. 学会等名 INNOVCARE Webinars（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 野田龍也、奥村泰之、神尾敬子、谷口俊文、明神大也、西岡祐一、鈴木貞夫、今村知明
2. 発表標題 我が国における季節性インフルエンザとCOVID-19の死亡率比較
3. 学会等名 第33回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 今村知明
2. 発表標題 第8次医療計画や地域医療構想などの医療施策の現状とコロナ禍を受けての今後の方向性
3. 学会等名 日本医療マネジメント学会 第17回奈良支部学術集
4. 発表年 2023年



1. 発表者名 明神大也、西岡祐一、森田えみり、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 健康診断におけるHbA1c高値の受診者の医療機関受診までの日数に関する分析
3. 学会等名 第66回日本糖尿病年次学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中島拓紀、西岡祐一、森田えみり、小泉実幸、紙谷史夏、樽松由佳子、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータによる発症前HbA1c値ごとの食習慣による2型糖尿病発症リスクへの影響の解析
3. 学会等名 第66回日本糖尿病年次学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 西岡祐一、森田えみり、竹下沙希、池茉莉香、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、毛利貴子、中島拓紀、樽松由佳子、岡田定規、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータによる内分泌代謝疾患の病態解明
3. 学会等名 第96回日本内分泌学会年次学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中島拓紀、西岡祐一、森田えみり、小泉実幸、紙谷史夏、樽松由佳子、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた食習慣による骨粗鬆症リスクへの影響の解析
3. 学会等名 第96回日本内分泌学会年次学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小泉実幸、西岡祐一、紙谷史夏、中島拓紀、森田えみり、久保慎一郎、明神大也、樽松由佳子、岡田定規、野田龍也、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた妊娠後骨粗鬆症の実態の解明
3. 学会等名 第96回日本内分泌学会年次学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yuichi Nishioka, Saki Takeshita, Emiri Morita, Miyuki Koizumi, Fumika Kamitani, Takako Mohri, Hiroki Nakajima, Yukako Kurematsu, Sadanori Okada, Tomoya Myojin, Tatsuya Noda, Tomoaki Imamura, Yutaka Takahashi
2. 発表標題 Elucidating the pathophysiology of diabetes and obesity using administrative claims database
3. 学会等名 Diabetes and Insulin Resistance (DESIRE) Conference 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 明神大也、西岡祐一、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 奈良県国保データを用いた特定健診でHbA1c高値を指摘された者の受療行動に関する調査
3. 学会等名 第82回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 新居田泰大、西岡祐一、次橋幸男、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、岡田定規、樽松由佳子、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 医療・介護連結ビッグデータを用いたインスリン使用と健康寿命の関連の解析
3. 学会等名 第94回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西岡祐一、野田龍也、久保慎一郎、明神大也、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、岡田定規、樽松由佳子、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 レセプトビッグデータを用いた糖尿病診断アルゴリズムの構築
3. 学会等名 第94回日本内分泌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西岡祐一、野田龍也、久保慎一郎、明神大也、玉城由子、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、岡田定規、金岡幸嗣朗、齋藤能彦、石井均、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 健康診断でHbA1c高値指摘後の医療機関未受診は早期死亡率上昇と関連する：レセプトビッグデータを用いた観察研究
3. 学会等名 第64回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 新居田泰大、西岡祐一、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、岡田定規、樽松由佳子、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、金岡幸嗣朗、齋藤能彦、石井均、今村知明、高橋裕
2. 発表標題 医療保険・介護保険連結ビッグデータ解析によって浮き彫りになる高齢2型糖尿病患者治療の実態と課題
3. 学会等名 第64回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西岡祐一、岡田定規、明神大也、久保慎一郎、竹下沙希、菅野沙帆、中西康裕、次橋幸男、降旗志おり、東野恒之、金岡幸嗣朗、池茉美香、新居田泰大、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、中島拓紀、毛利貴子、柴田博仁、樽松由佳子、赤井靖宏、齋藤能彦、石井均、野田龍也、高橋裕、今村知明
2. 発表標題 『データベース医学』が切り拓く新しい糖尿病学：大規模レセプトデータベースを用いた臨床疫学研究から見えること
3. 学会等名 第64回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yasuhiro Nakanishi, Yuichi Nishioka, Yukio Tsugihashi, Manabu Akahane, Tatsuya Noda, Tomoya Myojin, Shinichiro Kubo, Tsuneyuki Higashino, Jean-Marie Robine, Koshiro Kanaoka, Tomohiro Kakinuma, Tomoaki Imamura
2. 発表標題 Analysis of supercentenarians' medical expenditures for one year before death: a population-based retrospective cohort study
3. 学会等名 International Centenarian Consortium 2021 annual meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大井川仁美、今井健、香川璃奈、明神大也、今村知明
2. 発表標題 原死因決定プロセスの効率化に資する機械学習による原死因コード変更予測
3. 学会等名 第41回医療情報学連合大会 (第22回日本医療情報学会学術大会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹下沙希、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報における病名・病名開始日を用いた名寄せロジックの開発
3. 学会等名 第41回医療情報学連合大会 (第22回日本医療情報学会学術大会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菅野沙帆、野田龍也、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、今村知明
2. 発表標題 NDBを用いた癌の部位別SMRの算出の検討
3. 学会等名 第41回医療情報学連合大会 (第22回日本医療情報学会学術大会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 辻本雄大、岡本左和子、西岡祐一、今村知明
2. 発表標題 後期高齢者の口腔環境と死亡割合と医療費に与える影響：奈良県をモデルに
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小川裕貴、山名隼人、野田龍也、岸本美和、吉原真吾、松居宏樹、康永秀生、今村知明
2. 発表標題 心室中隔欠損症に対する小児心臓カテーテル検査における麻酔方法と重症合併症の関連
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西岡祐一、竹下沙希、明神大也、久保慎一郎、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 ベンゾジアゼピン系薬の処方有無と死亡率の関連：高次元傾向スコアを用いた観察研究
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹下沙希、西岡祐一、明神大也、久保慎一郎、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）による透析導入リスクについて
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菅野沙帆、久保慎一郎、西岡祐一、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 透析患者における骨折発症の標準化罹患比の算出：KDBを用いた検討
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 新居田 泰大、西岡 祐一、明神 大也、久保 慎一郎、次橋 幸男、野田 龍也、今村 知明
2. 発表標題 医療・介護連結解析からわかる高齢2型糖尿病患者治療の実態と課題
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 次橋幸男、赤羽学、中西康裕、明神大也、久保慎一郎、西岡祐一、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 医療・介護保険レセプトデータを用いた要介護状態の契機となった入院主病名及び手術名の分析
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 今村知明、西岡祐一、野田龍也
2. 発表標題 奈良県のKDB7年間データを用いた時系列分析と医療内容の変
3. 学会等名 第80回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中西 康裕、次橋 幸男、赤羽 学、野田 龍也、明神 大也、久保 慎一郎、西岡 祐一、東野 恒之、今村 知明
2. 発表標題 百寿者の人口動態と大規模レセプトデータを用いた百寿者研究の今後
3. 学会等名 第62回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 紙谷史夏、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、柴田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた臨床研究：日本全体の下肢切断、糖尿病患者のリスク
3. 学会等名 第63回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中島拓紀、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、玉城由子、小泉実幸、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 心血管疾患の1次予防に対するメトホルミン、スルホニル尿素薬及びDPP4阻害薬治療効果の比較：人口ベースのコホート研究
3. 学会等名 第63回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野田龍也、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、東野恒之、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた臨床研究：重症低血糖後の硝子体手術施行率
3. 学会等名 第63回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 玉城由子、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、小泉実幸、中島拓紀、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定検診等情報データベースを(NDB)を用いた臨床研究：メトホルミンと他の血糖降下薬の変形性関節症手術施行率
3. 学会等名 第63回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡田定規、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた臨床研究：糖尿病患者における 遮断薬の投与と重症低血糖
3. 学会等名 第63回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西岡祐一、岡田定規、野田龍也、久保慎一郎、明神大也、東野恒之、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた自己対照ケースシリーズ研究：インフルエンザ後の1型糖尿病発生率
3. 学会等名 第63回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 久保慎一郎、西岡祐一、明神大也、野田龍也、東野恒之、玉城由子、小泉実幸、中島拓紀、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)の臨床研究：死亡ロジックを用いた死亡者の糖尿病/非糖尿病での比較
3. 学会等名 第63回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2020年



1. 発表者名 西岡祐一、野田龍也、久保慎一郎、明神大也、今村知明
2. 発表標題 特定健康診査の糖尿病薬処方に関する質問項目のバリデーション研究
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一 明神大也、今村知明
2. 発表標題 NDBを用いた難病患者(潰瘍性大腸炎、多発性硬化症、視神経脊髄炎)における患者数の推計
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野田龍也、今村知明、明神大也、西岡祐一、久保慎一郎
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB) : HIV/AIDSの現在通院患者数の的確な把握
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中西康裕、次橋幸男、赤羽学、野田龍也、明神大也、久保慎一郎、西岡祐一、今村 知明
2. 発表標題 大規模レセプトデータを用いた百寿者及び非百寿者の死亡前医療費の比較
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 新居田泰広、西岡祐一、次橋幸男、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、今村知
2. 発表標題 糖尿病/非糖尿病での死亡時年齢と健康寿命の比較
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小川裕貴、西岡祐一、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 奈良県における心房細動に対するカテーテルアブレーション治療時の麻酔管理の現状
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 菅野沙帆、久保慎一郎、赤羽学、次橋幸男、今村知明
2. 発表標題 透析患者における骨折発症リスク：KDBを用いた検討
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 次橋幸男、赤羽学、明神大也、中西康裕、久保慎一郎、西岡祐一、野田龍也、今村知明
2. 発表標題 医療・介護レセプトデータを用いた人工栄養開始後の療養場所に関する追跡調査
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 今村知明、西岡祐一、野田龍也
2. 発表標題 K D B を用いた奈良県における後期高齢者医療費と保険料水準の理論推計
3. 学会等名 第79回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、東野恒之、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等データベース（NDB）における患者突合の精度向上に関する手法開発
3. 学会等名 第40回医療情報学連合大会（第21回日本医療情報学会学術大会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 今村知明
2. 発表標題 リアルワールド・データの臨床活用への現状と課題
3. 学会等名 第85回日本循環器学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 毛利貴子、西岡祐一、久保慎一郎、野田龍也、明神大也、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、栗田博仁、岡田定規、赤井靖宏、東野恒之、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診情報データベース（NDB）を用いた1億人規模の臨床研究：日本の保険診療患者の糖尿病薬処方開始率
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西岡祐一、岡田定規、野田龍也、久保慎一郎、明神大也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、毛利貴子、栗田博仁、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた臨床研究：糖尿病患者における重症低血糖と急性冠症候群発生率の関連
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡田定規、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、栗田博仁、毛利貴子、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた1億人規模の臨床研究：保険診療糖尿病患者の急性冠症候群の発生率
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保慎一郎、西岡祐一、野田龍也、明神大也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、栗田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた1億人規模の臨床研究：日本の保険診療糖尿病患者の透析導入率
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 紙谷史夏、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、栗田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた1億人規模の臨床研究：日本の保険診療糖尿病患者の下肢切断術施行率
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 明神大也、西岡祐一、久保慎一郎、野田龍也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた1億人規模の臨床研究：日本の保険診療糖尿病患者の死亡率
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野田龍也、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、柴田博仁、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 ナショナルデータベース（NDB）を用いた1億人規模の臨床研究：日本の保険診療糖尿病患者の網膜光凝固/硝子体手術施行率
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴田博仁、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、峯昌啓、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、紙谷史夏、毛利貴子、岡田定規、赤井靖宏、今村知明、石井均
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）による保険診療の実態調査：日本の糖尿病患者の処方の実態
3. 学会等名 第62回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、降旗志おり、東野恒之、瀬楽丈夫、今村知明
2. 発表標題 NDBに対する死亡決定ロジックの手法開発と検証
3. 学会等名 第23回日本医療情報学会春季学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 次橋幸男、赤羽 学、中西康裕、林修一郎、野田龍也、明神大也、今村知明
2. 発表標題 胃瘻造設術の減少と人工栄養の推移：レセプトデータを用いた患者数と生命予後の分析
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 今村知明、明神大也、西岡祐一、久保慎一郎、中西康裕、次橋幸男、野田龍也
2. 発表標題 健康福祉関連ビッグデータの結合による解析の可能性と問題点
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の活用：透析患者追跡と死亡数検証
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野田龍也、西岡祐一、明神大也、久保慎一郎、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）：抗 HIV薬の処方実態全数把握
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中西康裕、次橋幸男、野田龍也、明神大也、久保 慎一郎、西岡 祐一、赤羽学、今村知明
2. 発表標題 大規模なレセプトデータを用いた100歳以上患者と100歳未満患者の医療費の比較
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西岡祐一、野田龍也、明神大也、久保慎一郎、毛利貴子、石井均、今村知明
2. 発表標題 日本の全保険診療患者を対象とした1型糖尿病発生率に関する記述疫学研究
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 明神大也、野田龍也、久保慎一郎、大寺祥佑、加藤源太、黒田知宏、毛利貴子、石井均、今村知明
2. 発表標題 ナショナルデータベース（NDB）の活用：糖尿病薬開始率とその患者数
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、中西康裕、降旗志おり、東野恒之、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）を用いた死亡アウトカムの追跡
3. 学会等名 第39回医療情報学連合大会（第20回日本医療情報学会学術大会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 明神 大也、次橋 幸男、久保 慎一郎、西岡 祐一、中西 康裕、降旗 志おり、東野 恒之、野田 龍也、今村 知明
2. 発表標題 国保データベースを用いた医療レセプトと介護レセプト連結における名寄せの課題
3. 学会等名 第39回医療情報学連合大会（第20回日本医療情報学会学術大会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuhiro Nakanishi, Yukio Tsugihashi, Tatsuya Noda, Tomoya Myojin, Shinichiro Kubo, Yuichi Nishioka, Manabu Akahane, Tomoaki Imamura
2. 発表標題 A comparison of medical expenditures between centenarians and non-centenarians using big data in medical claims
3. 学会等名 14th Supercentenarian Seminar（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野田龍也、明神大也、久保慎一郎、西岡祐一、東野恒之、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、毛利貴子、岡田定規、増谷剛、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の利用：日本の全診療報酬情報を用いた糖尿病の疫学分析
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 明神大也、野田龍也、久保慎一郎、西岡祐一、東野恒之、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、毛利貴子、岡田定規、増谷剛、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 日本の1型糖尿病患者数と年齢別分布-ナショナルデータベース（NDB）を用いた解析
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 西岡祐一、野田龍也、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、毛利貴子、岡田定規、増谷剛、赤井靖宏、明神大也、久保慎一郎、今村知明、石井均
2. 発表標題 日本の保険診療全患者における糖尿病治療薬と入院を要する低血糖/重症低血糖発生リスク
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 毛利貴子、西岡祐一、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、岡田定規、増谷剛、赤井靖宏、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、今村知明、石井均
2. 発表標題 日本の保険診療全疾患を対象としたピグアナイド薬による乳酸アシドーシス入院リスクの検討
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石井均、西岡祐一、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、毛利貴子、岡田定規、増谷剛、赤松靖宏、久保慎一郎、明神大也、野田龍也、東野恒之、今村知明
2. 発表標題 日本における糖尿病薬処方の全貌：NDBデータを用いた悉皆調査
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、明神大也、西岡祐一、東野恒之、福島由子、小泉実幸、中島拓紀、中上純子、毛利貴子、岡田定規、増谷剛、赤井靖宏、石井均、今村知明
2. 発表標題 日本の糖尿病診療の質-プロセスの解析；ナショナルデータベース（NDB）を用いた保険診療全糖尿病患者の検討
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 今村知明
2. 発表標題 日本の医療を取り巻く社会環境：その現状と課題
3. 学会等名 第5回日本糖尿病医療学学会～糖尿病患者のこころに応える～（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 今村知明
2. 発表標題 世界最大の医療ビッグデータNDB（ナショナルデータベース）の活用と今後の展望
3. 学会等名 第33回日本整形外科学会基礎学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西岡祐一、野田龍也、久保慎一郎、明神大也、東野恒之、毛利貴子、石井均、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）：糖尿病患者の急性冠症候群リスク
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、今村知明
2. 発表標題 特定健診等情報データベース（NDB）の活用：透析患者追跡と死亡数の検証
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 明神大也、野田龍也、久保慎一郎、西岡祐一、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の活用：外来処方医薬品のクロス集計
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野田龍也、西岡祐一、久保慎一郎、明神大也、東野恒之、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の活用：糖尿病を例にした全国集計
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 次橋幸男、林修一郎、野田龍也、明神大也、赤羽 学、今村知明
2. 発表標題 胃瘻造設術はどこで減少したか：奈良県KDBデータを用いた後方視的研究
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 明神 大也、野田 龍也、久保 慎一郎、西岡 祐一、東野 恒之、今村 知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）利用促進に向けた取り組み - 1患者1データ化 -
3. 学会等名 第38回医療情報学連合大会（第19回日本医療情報学会学術大会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 久保慎一郎、野田龍也、西岡祐一、明神大也、降旗志おり、東野恒之、瀬楽丈夫、今村知明
2. 発表標題 レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）に対する死亡決定ロジックの手法開発
3. 学会等名 第38回医療情報学連合大会（第19回日本医療情報学会学術大会）
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 中西 康裕、今村 知明	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メディカ出版	5. 総ページ数 192
3. 書名 “中堅どころ”が知っておきたい 医療現場のお金の話	

〔出願〕 計1件

産業財産権の名称 レセプト情報データベースにおける患者の死亡判定方法及び装置	発明者 今村知明、ほか7名	権利者 公立大学法人奈良県立医科大学
産業財産権の種類、番号 特許、特願2019-094138	出願年 2019年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計0件

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	加藤 源太 (Kato Genta) (20571277)	京都大学・医学研究科・准教授  (14301)	
研究分担者	赤井 靖宏 (Akai Yasuhiro) (30326326)	奈良県立医科大学・医学部・教授  (24601)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	石井 均  (Ishii Hitoshi)  (30422934)	奈良県立医科大学・医学部・教授    (24601)	
研究分担者	毛利 貴子  (Mohri Takako)  (30745435)	奈良県立医科大学・医学部附属病院・研究員    (24601)	
研究分担者	西岡 祐一  (Nishioka Yuichi)  (50812351)	奈良県立医科大学・医学部・助教    (24601)	
研究分担者	野田 龍也  (Noda Tatsuya)  (70456549)	奈良県立医科大学・医学部・准教授    (24601)	
研究分担者	明神 大也  (Myojin Tomoya)  (40823597)	奈良県立医科大学・医学部・講師    (24601)	
研究分担者	久保 慎一郎  (Kubo Shinichiro)  (20833809)	奈良県立医科大学・医学部附属病院・技師    (24601)	2021年度より削除：本人の転職に伴う業務多忙で、研究分担の辞退の申し出があったため

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------